

東海地方の卸売市場のあり方に関する展望と課題

- 日 時：2019年7月13日（土）13:00～17:10（エクスカージョン：11:00～12:00）
- 場 所：名古屋市中央卸売市場 本場 中央管理棟（本館） 2階 多目的室
- 開催趣旨：

昨年〔2018年〕6月に改正された卸売市場法では、国が全国の卸売市場に係る規制を一律に行うようなシステムから、各地域が独自に決められるシステムへと規制を緩和した。それによって、地域との関係性も含めた卸売市場の多様な在り方を各地域で、かつ各地域の住民とともに議論を進める姿勢が求められている。

そこで、本シンポジウムでは、地域住民や卸売市場で従事している関係者、卸売市場に関する研究を行っている学識経験者、そして、卸売市場の運営を担っている行政機関の関係者が一堂に会して、東海地方の卸売市場の今後の在り方について議論し、今後の展望と課題について将来の方向性を提示したい。

式順	内 容	時 間
1	エクスカージョン（「名古屋市中央卸売市場 本場」の見学）	11:00～12:00
2	お昼休み〈※ お食事は市場内の店舗でとることができます。〉	12:00～13:00
3	開会挨拶 — 小林富雄〈日本流通学会理事・中部部会部会長／愛知工業大学〉	13:00～13:05
4	趣旨説明／ご講演者紹介 — 相原延英	13:05～13:10
5	講演 1 — 相原延英〈中部部会幹事・部会事務局／名古屋文理大学〉 「東海地方の卸売市場の公共性と存立基盤」	13:10～14:00
6	講演 2 — 梅村肇〈名古屋市 市民経済局 市民生活部 主幹（市場のあり方検討）〉 「名古屋市中央卸売市場のあり方検討について」	14:00～14:15
7	講演 3 — 石原美紀〈セントライ青果株式会社 代表取締役会長〉 「卸売会社の今後のあり方」	14:15～15:00
8	休憩（質問票受付）	15:00～15:15
9	パネルディスカッション	16:15～16:45
10	座長総括 — 小林富雄	16:45～17:00
11	閉会挨拶 — 松尾秀雄〈日本流通学会理事／名城大学〉	17:00～17:10

■ アクセスマップ [右図]

● 公共交通機関

- ◇ 地下鉄名港線「日比野」駅下車、徒歩 5分
- ◇ 市バス・栄 22「中央卸売市場前」駐車場下車すぐ

◎ 駐車場がございませんので、公共交通機関でお越し下さい。

- 事前申込みをお願いしております（お申込されない場合は、ご入場できない場合がございます）。**7月10日（水）23:59まで**に、**裏面の参加申込みフォーム**からお申し込み下さい。

お申し込み頂きました後に、受付完了のご連絡致します。

なお、**定員は50名**でございます。



パネリスト

○ 石原 美紀 (いしはら よしのり)

〈セントライ青果株式会社 代表取締役会長〉

1976年 同志社大学文学部社会学科卒業

同年 名古屋銀行 入行。

1991年 株式会社丸市青果 (現・セントライ青果株式会社) 入社。

2016年より現職。

○ 相原 延英 (あいはら のぶひで)

〈名古屋文理大学 健康生活学部 フードビジネス学科 准教授〉

2011年 東京農工大学大学院連合農学研究科共生社会科学専攻修了〈博士(農学)〉

2014年より酪農学園大学食農環境学群講師(専任)。

2016年より現職。

日本流通学会中部部会幹事・部会事務局、名古屋市中央卸売市場のあり方検討懇談会構成員。

座長

○ 小林 富雄 (こばやし とみお)

〈愛知工業大学 経営学部 経営学科 教授〉

2003年 名古屋大学大学院生命農学研究科修了〈博士(農学)〉

2015年 名古屋市立大学大学院経済学研究科修了〈博士(経済学)〉

商社、シンクタンク、短大勤務を経て、2015年より愛知工業大学経営学部経営学科准教授。

2017年より現職。

日本流通学会理事・中部部会部会長、名古屋市市場取引委員会北部市場水産物取引部会部会長、

環境省中央環境審議会食品リサイクル専門委員、消費者庁食品ロス削減のための戦略企画会議委員

懇親会〔18:00~20:00〕

会費：4,000円

■ **エクスカージョン集合場所：中央卸売市場・本場 中央管理棟（本館） 1階 ロビー**

■ お問い合わせ先：部会事務局・相原 [E-mail : jsds.chubu@gmail.com]

■ 参加申込みフォーム： <https://kokucheese.com/event/index/570714/>

(右記のQRコードよりご登録下さい。)

